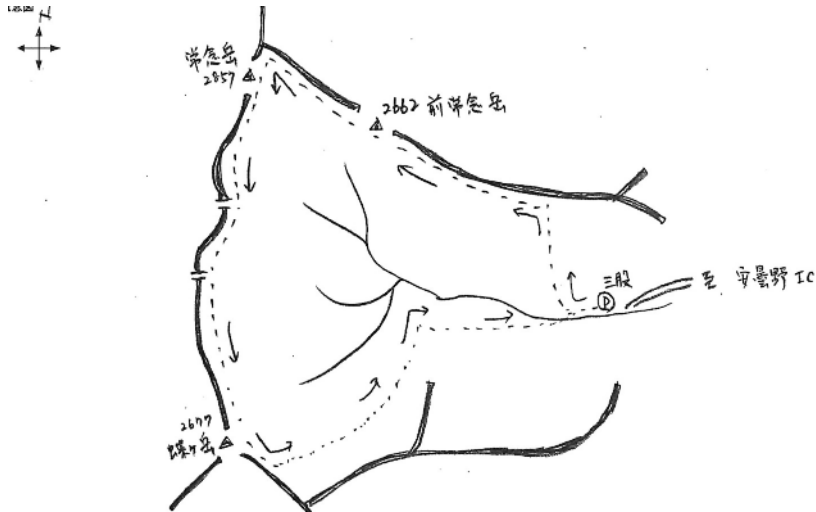


常念岳・蝶ヶ岳

北アルプスの山々を見たい

2019年8月14日

L: 齋藤



8月13日(火)くもり時々雨

18時半頃、三股の駐車場着。お盆の連休中なので満車かと思っていたが20台分くらい空いていた。現在、四国のかなり南の海上にいて、自転車並みの速度で北上してきている台風10号のせい？

初めての常念岳と蝶ヶ岳。長時間山行になるので早めに就寝。

8月14日(水)くもり

車内が暑苦しくて目が覚めてしまった。当初は3時頃から登り始めようと思っていたが、開始時刻が遅くなるほど天候不良となっていていくはずなので、支度が出来次第登山開始とした。時間は1:22。

前常念岳に向けて歩いていく。真っ暗

で急登の樹林帯。そして長い。無風で暑くて汗が止まらない。飲料を口に含む回数が多い。足りるのかな？水。



熊が出てきそうな樹林帯

前常念岳から延びる尾根に乗ると、やっと視界が開け、岩稜帯に変わった。



道が分かり難いけど、解放感たっぷり
そして、この尾根で朝日を迎えた。



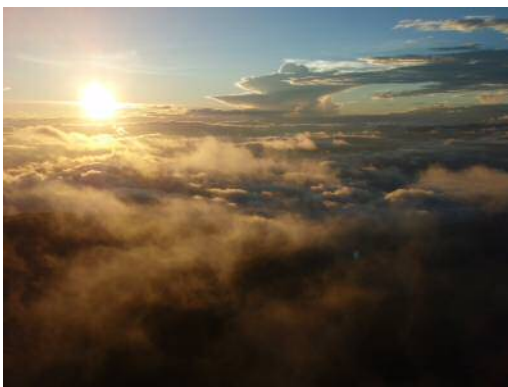
ガスが切れると常念岳が見えました



幻想的♪来て良かった



6時12分、常念岳着



上層の天気は良いんですが・・・

5:15。前常念岳の避難小屋に到着。この辺りから常念岳から下山してくる登山者とすれ違うようになった。登山者いたんだ。百名山だもんね。

さてここからが悩む。最初の樹林帯で予想以上に体力と水を使ってしまった。ここで引き返すべきか、それとも距離は伸びるが緩急が少ない縦走路を選ぶか。悩んだ末、先に進むことへ。時間はまだ早い。何よりも滅多に機会がない「縦走」というものを楽しんでみたい。

ガスっていて遠くの山々は全く見えなけれど気持ちの良い稜線歩きはできるかな？と期待していたが、解放感があるのは常念岳から数百mだけ。そこからはまた樹林帯。



またかあ

しかし、蝶ヶ岳付近に近づくと再び視界が開けた。



はあ、やっと抜けた。



そしてガスガスの山の中で



雷鳥の親子に遭遇



子どもにはまだ柔らかい産毛が

雷鳥は近づいても逃げず、逆にこちらに寄ってきたので驚いた。数分ほど一緒にいたが、他の登山者が来たら飛んで逃げてしまった。仕方がない。また歩こう。



これが蝶ヶ岳かな？



山頂？



霧の蝶ヶ岳ヒュッテ

蝶ヶ岳ヒュッテを過ぎると、あとは三股まで長い長い下り道。



暑いよ～



ゴジラみたいな木

この下り道は階段等の整備が行き届いているので、周遊するのであれば三股から右回りの方が気分的に楽かもしれない。

蝶ヶ岳から約3時間半。駐車場まで戻ってきた。今回のルートに危険な場所は無いので初心者向け。また、距離が長いのでトレーニングにも向いていると思う。この日はガスで遠くの山々は見れなかったが、天気良ければきっと素敵な山行になるものと思う。

<タイム>

三股 P(1:22)-三股登山口(1:35)-前常念避難小屋(5:14)-前常念岳(5:22)-常念岳(6:12)-蝶ヶ岳(9:39)-三股登山口(12:57)-三股 P(13:09)

(齋藤 記)